

なぜ『通いの場』が必要なの？

『通いの場』を地域につくり、参加することで得られるものは
 为什么呢？その「機能」と「効果」についてご紹介します。

『通いの場』で
 かようもの



支え合いの地域づくり

お互いの暮らしに関心を持ち合うことから
 「支え合い」はスタートします。
 身近な居場所から生まれた、人と人のつ
 ながりが幸せとあたたかさを感じられる支え
 合いの地域をつくっていきます。

自分も地域も
 「元気」を実現

ステップ5
 地域にあたたかさ
 がかよう



ステップ4
 お互い様の
 意識がかよう

気にかけあう関係性

この場所でいつもつながっている。
 そんな関係だからこそ、大切に思い
 あえる。日常のつながりからお互い
 様の意識がかよっていきます。

ステップ3
 暮らしと元気が
 かよう

活躍できる身近な舞台

『通いの場』はみんなが参加して、それぞ
 れが得意なことを行う「活躍の場」でもあり
 ます。「楽しみ」と「活躍」は何よりの介護
 予防となります。

ステップ2
 情報がかよう

地域の情報・互いの情報

『通いの場』ではみんなが楽しく「ちゃーちゃー」
 おしゃべりをしています。そのおしゃべりが実はと
 ても大切で、地域の情報やお互いの情報がかよいあ
 っているのです。

ステップ1
 自分の足で
 かよう

自分の意志で足を運ぶ「社会参加」

『通いの場』は年齢を重ねてもふだんの場所で、ふだんの仲間
 と交流できる「社会参加の入口」です。新たな人とのつながり
 や出会いができるのも魅力の一つです。

『通いの場』に参加することでいろいろな「いいもの」があなたのもとへ！

つながり

幸福感

役割

楽しさ

地域愛

健康

生きがい

活動

刺激

充実感

笑い

情報

お互い様

相談相手

知識

仲間



『通い続けること』から見えてきた効果・可能性

1. 人に現れた効果「105歳からのボランティア活動！」

(竹内婦美子さん)

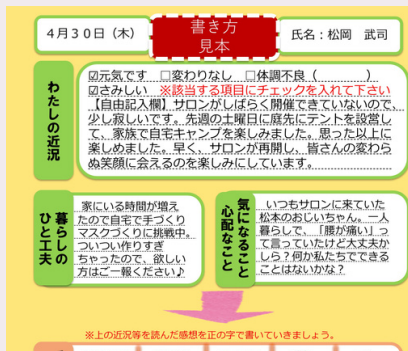


①現在は、介護施設で生活を送る竹内さんは御年105歳。住み慣れた地域の情報は、いつでも家族や友達が伝えてくれます。

②地域で新たにはじまった交流会のことを聞いた竹内さんは、その活動を応援したくて昔から得意だった手芸の腕前を活かしたポーチづくりに取り組みます。

③105歳のおばあちゃんが作ったポーチは地域の方に大きな元気を与えました。みんなの喜ぶ様子を聞いた竹内さんもさらに元気になりました。活躍はまだまだ続きそうです。

2. 『通いの場』に現れた効果 「会えないなかでもつながりを紡いでサロン復活」 (サロンサカヅ・元気サロンサカヅ)



①突然やってきたコロナ禍..。西酒津のみんなの居場所も活動の休止を余儀なくされました。「会えないなかでもお互いの暮らしを知りたい」そんな思いから始まった「つながる回覧」。

②回覧板や交換日記の機能をもった、「つながる回覧」は会えないなかでも一人ひとりの暮らしをつないでいきました。「会いたい」という声や「寂しい」という声がぎゅー。

③みんなの声に後押しされて、サロンが復活。久しぶりの再会でしたが「つながる回覧」が互いの暮らしをつないでくれたおかげでみんなが自然にサロンに帰ってきてくれました。

3. 「地域」に現れた効果 「コロナ禍をきっかけに花開いた支え合い活動」 (就労移行支援事業所 irodori)



①新型コロナの影響でこれまで通りの集い方ができなくなった時、みんなで取り組んだマスクづくり。チャレンジしてくれたのは高齢者サロンだけでなく障がい者作業所の皆さんも。

②地域の方のことを思いながらマスクを作っていくと、「作るだけじゃなくて、このマスクを届ける役割も担いたい」そのような思いがこみ上げてきてマスクお届けチームが誕生！

③民生委員さん協力のもと地域の高齢者にマスクを届けます。「見守られているなあ」という安心感と「地域の一員になれるなあ」という充実感。互いに共通する思いは「ありがとう」。